

日本・イラク合同文化遺産研究シンポジウム

古代メソポタミアのシュメール・アッカド 地域を中心とした文化遺産研究と国際協力

2025年

1月26日(日)

10:00~17:30

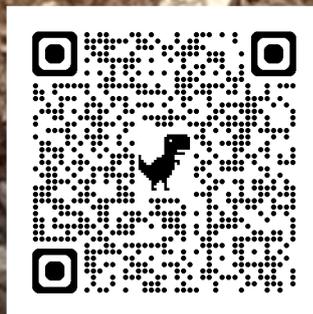


会場：国立科学博物館 大会議室
言語：日本語（アラビア語は通訳あり）
募集定員：30名（応募先着順）
※事前申し込みが必要です。
参加費：無料
受付：9:10~10:00

申込み：二次元コードより申し込み
フォームにご回答ください。
(期限：2025年1月22日(水))

主催： 長崎国際大学   国士舘大学  江戸川大学 

後援：在日本イラク大使館
(独)国際協力機構





【プログラム】

- 10:00 開会の言葉：長谷川 均（国土館大学 名誉教授）
 10:05 開催館挨拶：栗原 祐司（国立科学博物館 副館長）
 10:10 趣旨説明：川上 直彦（長崎国際大学 准教授）
 10:20～11:00 特別講演 Ali Obaid Shalgham Albotaeef（イラク考古・遺産庁 長官）
 「イラク本土におけるイラク隊と海外隊による古代メソポタミアの考古学調査の現状と展望」
 11:00～11:30 基調講演① 小口 和美（国土館大学イラク古代文化研究所 所長・教授）
 「イラクにおける国土館大学イラク古代文化研究所の調査の歩みとキシュへの再調査に向けて」
 11:30～12:20 昼食休憩

セッション1：考古学部門（テル・シンカーにおける今後の考古学調査）

- 12:20～12:50 基調講演② 川上 直彦（長崎国際大学 准教授）
 「人類初の統一国家古代メソポタミア・アッカド王朝の首都アガデの所在地とアガデの有力候補テル・シンカーにおける今後の考古学調査」
 12:50～13:10 報告① 後藤 智哉（グリーン航業株式会社 専務取締役）
 / 国土館大学イラク古代文化研究所 特別研究員
 「時系列地理情報データの活用によるテル・シンカーの景観復元：1950年代のアメリカU2スパイ空中写真と衛星データ及びAW3D高精細版地形データの利用」
 13:10～13:30 報告② 長谷川 均（国土館大学 名誉教授）
 「全地球測位衛星システム（GNSS）と地理情報システム（GIS）を活用した遺丘における考古学的地表面調査」
 13:30～13:50 報告③ 中島 金太郎（江戸川大学 講師）
 「テル・シンカーにおける考古学的地表面調査による採集遺物の3次元写真測量」
 13:50～14:20 報告④ Ali Ahmed Abdulateef Al-Tameemi（イラク考古・遺産庁 職員）
 「テル・シンカーの現状とイラク・ドゥジャイル行政区にある他の遺丘の考古学調査の現状」
 14:20～14:30 休憩

セッション2：博物館・国際協力部門

- 14:30～15:00 基調講演③ 栗原 祐司（国立科学博物館 副館長）
 「イラクの博物館との国際協力の可能性」
 15:00～15:30 報告⑤ Mohammed Abdulhusein Falih Albkhaitawi
 & Buraq Abdulhusein Taher Taher（イラク考古・遺産庁 職員）
 「イラク国立博物館に展示・所蔵されている古代メソポタミア文明の秘宝」
 15:30～15:50 報告⑥ 松本 健（国土館大学 名誉教授）
 「ヨルダン王国ギリシャ・ローマ遺跡ウムカイス（古代名ガダラ）における（独）国際協力機構（JICA）のイラク人文化遺産部門職員対象の文化遺産国際協力研修プログラムとその成果」
 15:50～16:10 報告⑦ 登坂宗太（（独）国際協力機構中東・欧州部中東第2課 課長）
 「ヨルダン王国のペトラ遺跡とパレスチナの文化遺産を活用した観光分野へのJICA 支援」
 16:10～17:25 全体討議・質疑応答コーディネーター：常木 晃（筑波大学 名誉教授）
 報告⑧ 片多 雅樹（長崎県埋蔵文化財センター調査課 係長）
 「国指定特別史跡『原の辻遺跡』を活用したテル・シンカー調査に係る日本・イラク合同文化遺産研修について」



【会場へのアクセス】



JR「上野駅」公園口から徒歩5分
 東京メトロ銀座線、日比谷線「上野駅」7番出口から徒歩10分
 京成線「京成上野駅」正面口から徒歩10分
 ※館内に駐車場および駐輪場はございません